



# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月26日

上場取引所 東大

上場会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社  
コード番号 8242 URL <http://www.h2o-retailing.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 若林 純

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 森 忠嗣

TEL 06-6365-8120

四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	115,524	△0.6	1,701	9.0	2,396	10.5	645	—
24年3月期第1四半期	116,273	9.4	1,561	0.9	2,167	6.6	△1,930	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △1,964百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △1,213百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	3.32	3.31
24年3月期第1四半期	△9.75	△8.82

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	333,989	165,676	49.1
24年3月期	335,230	168,854	49.9

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 164,140百万円 24年3月期 167,330百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.25	—	6.25	12.50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	6.25	—	6.25	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	233,000	△1.4	1,400	△61.8	2,000	△47.9	3,200	—	16.48
通期	533,000	5.4	11,000	10.5	11,500	11.5	6,200	486.5	31.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	206,740,777 株	24年3月期	206,740,777 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	12,572,616 株	24年3月期	12,571,631 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	194,168,655 株	24年3月期1Q	198,073,530 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	
株式会社阪急阪神百貨店の業績について	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日）における当社グループの業績は、株式会社阪急阪神百貨店において、阪急うめだ本店のグランドオープンに向けた最終工事による既存売場の面積減少により、百貨店事業は減収になったものの、株式会社家族亭の子会社化などにより、グループ全体ではほぼ前年並みの売上高を確保することができました。

また、ここ数年にわたりグループ全体で取り組んできた経費構造改革により、販管費率が低下した結果、連結営業利益、経常利益及び四半期純利益はそれぞれ増益となりました。

《連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	115,524	99.4
営業利益	1,701	109.0
経常利益	2,396	110.5
四半期純利益	645	—

各セグメントの概況は次の通りです。

【百貨店事業】

阪急うめだ本店におきましては、本年11月下旬のグランドオープンに向け開業準備を進めておりますが、工事の進捗に伴う既存売場の改装・移設により、一期棟の売場面積は前年同時期に比べ、約7割に減少しております。このような状況の中、当社顧客の支持が高い特選品などが引き続き堅調に推移するとともに、婦人衣料や雑貨なども想定以上で推移した結果、阪急百貨店メンズ館を加えた阪急本店の売上高前期比は88.6%となりました。

その一方で、阪神梅田本店では、衣料品や身の回り品などが好調に推移するとともに、催事などの集客施策が奏功し、売上高前期比は102.0%となりました。また、支店におきましても、昨年10月に全面改装した阪急MEN'S TOKYOや西宮阪急などが前年実績を上回り推移いたしました。

これらの結果、百貨店事業の業績は、平成24年3月に神戸阪急を閉鎖したこともあり減収となったものの、減価償却費の減少に加え、経費構造の見直しの成果もあり、営業利益は989百万円となりました。

《百貨店事業の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	81,038	93.9
営業利益	989	102.6

【スーパーマーケット事業】

食品スーパーを取り巻く環境は、競合の激化や価格競争など依然厳しい状況が続いておりますが、食品スーパー“阪急オアシス”を運営する株式会社阪食では、本年度も阪急オアシス御影店など既存店3店の改装を実施し、改装店舗は生鮮を中心に好調に推移いたしました。既存店ベースの売上高は、客数減により前期比98.0%となりましたが、昨年度に開業した新店2店の売上が寄与した結果、増収増益となりました。

これに加え、株式会社阪急デリカをはじめ食品製造子会社におきましても、それぞれ売上拡大により増益を確保した結果、スーパーマーケット事業の業績は、以下の通りとなりました。

《スーパーマーケット事業の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	22,748	101.4
営業利益	329	121.9

【PM（プロパティマネジメント）事業】

PM事業では、平成24年3月末に子会社を売却した影響で減収となりましたが、株式会社大井開発では、運営する阪急大井町ガーデンにおいて、ビジネスホテル「アワーズイン阪急」が前年同時期に比べ客室稼働率が大きく向上した結果、業績を伸ばすなど、PM事業5社全社で営業利益が改善いたしました。

《PM（プロパティマネジメント）事業の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	3,059	96.4
営業利益	488	141.4

【その他事業】

その他事業におきましては、平成23年秋より首都圏で宅配事業を開始した株式会社阪急キッチンエール東京が、事業開始に伴い経費増となりましたが、既存子会社につきましては、23社中12社で営業利益が改善いたしました。

また、昨年9月に株式会社家族亭を子会社化したことにより、その他事業の業績は以下の通りとなりました。

《その他事業の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)》

	金額(百万円)	前年同期比(%)
売上高	8,677	198.0
営業利益	301	68.1

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は333,989百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,240百万円減少しました。これは、季節要因により受取手形及び売掛金が3,682百万円、商品及び製品が1,777百万円増加した一方、減価償却及び阪急うめだ本店グランドオープンに向けた最終工事に伴う除却により建物及び構築物が2,155百万円、株式含み益の減少などにより投資有価証券が4,166百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は168,313百万円となり、前連結会計年度末から1,938百万円増加しました。これは運転資金の調達などに伴い短期借入金が増加しましたが、季節要因により買掛金が4,043百万円減少したほか、賞与の支払により賞与引当金が2,965百万円減少したことなどによるものです。

また、純資産は165,676百万円と前連結会計年度末から3,178百万円減少しました。これは主として、株式含み益の減少によりその他有価証券評価差額金が2,677百万円減少したことなどによるものです。

なお、自己資本比率は49.1%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期は、主力の百貨店事業の売上が期初予想を上回ったことから、連結業績が期初予想を上回りました。この結果を踏まえ、第2四半期累計及び通期の業績予想につきまして、それぞれ修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日業績予想の修正に関するお知らせを公表しておりますので併せてご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,823	15,079
受取手形及び売掛金	19,979	23,662
有価証券	206	106
商品及び製品	14,369	16,147
仕掛品	122	124
原材料及び貯蔵品	967	892
繰延税金資産	4,849	2,978
未収入金	2,545	2,725
その他	2,486	2,812
貸倒引当金	△42	△58
流動資産合計	63,307	64,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	62,406	60,251
機械装置及び運搬具（純額）	1,987	1,930
土地	35,324	35,250
建設仮勘定	3,708	7,452
その他（純額）	5,680	5,373
有形固定資産合計	109,106	110,257
無形固定資産		
のれん	17,107	16,811
その他	8,189	7,761
無形固定資産合計	25,297	24,572
投資その他の資産		
投資有価証券	64,300	60,133
長期貸付金	2,607	2,609
差入保証金	57,372	57,332
繰延税金資産	9,575	10,898
その他	3,790	3,848
貸倒引当金	△127	△135
投資その他の資産合計	137,518	134,688
固定資産合計	271,922	269,518
資産合計	335,230	333,989

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	32,444	28,401
1年内償還予定の社債	35	35
短期借入金	40	10,000
1年内返済予定の長期借入金	650	629
未払法人税等	1,068	367
繰延税金負債	0	0
商品券	19,716	20,227
賞与引当金	4,299	1,334
資産除去債務	1,264	953
その他	29,370	30,787
流動負債合計	88,891	92,738
固定負債		
社債	34	34
長期借入金	41,557	41,449
繰延税金負債	10,546	8,852
再評価に係る繰延税金負債	310	310
退職給付引当金	15,456	15,489
役員退職慰労引当金	150	152
商品券等回収引当金	1,742	1,753
長期末払金	1,463	1,376
長期預り保証金	5,870	5,750
資産除去債務	224	232
その他	128	174
固定負債合計	77,484	75,575
負債合計	166,375	168,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,796	17,796
資本剰余金	48,257	48,258
利益剰余金	95,258	94,690
自己株式	△118	△120
株主資本合計	161,194	160,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,619	3,942
土地再評価差額金	81	81
為替換算調整勘定	△564	△507
その他の包括利益累計額合計	6,136	3,515
新株予約権	341	341
少数株主持分	1,182	1,193
純資産合計	168,854	165,676
負債純資産合計	335,230	333,989



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	116,273	115,524
売上原価	83,781	83,687
売上総利益	32,491	31,836
販売費及び一般管理費	30,930	30,135
営業利益	1,561	1,701
営業外収益		
受取利息	20	18
受取配当金	546	541
諸債務整理益	360	356
その他	273	329
営業外収益合計	1,201	1,245
営業外費用		
支払利息	88	99
商品券等回収引当金繰入額	269	270
その他	236	180
営業外費用合計	594	550
経常利益	2,167	2,396
特別利益		
固定資産売却益	—	142
段階取得に係る差益	260	—
特別利益合計	260	142
特別損失		
固定資産除却損	39	646
新店舗開業費用	—	518
人事制度改編に伴う一時費用	5,282	—
店舗建替関連損失	280	—
特別損失合計	5,601	1,164
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△3,172	1,374
法人税、住民税及び事業税	149	407
法人税等調整額	△1,387	310
法人税等合計	△1,238	717
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,933	656
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	11
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,930	645

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1,933	656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	666	△2,677
為替換算調整勘定	53	56
その他の包括利益合計	720	△2,621
四半期包括利益	△1,213	△1,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,210	△1,975
少数株主に係る四半期包括利益	△3	10

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	百貨店 事業	スーパー マーケット 事業	PM事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	86,278	22,438	3,174	4,381	116,273	—	116,273
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	49	1,023	876	3,919	5,868	△5,868	—
計	86,328	23,462	4,050	8,300	122,142	△5,868	116,273
セグメント利益	964	269	345	442	2,022	△460	1,561

(注) 1. セグメント利益の調整額△460百万円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

エブリデイ・ドット・コム株式の追加取得による同社の子会社化に伴い、「その他事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間よりのれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,340百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	百貨店 事業	スーパー マーケット 事業	PM事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	81,038	22,748	3,059	8,677	115,524	—	115,524
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	67	995	910	3,888	5,861	△5,861	—
計	81,106	23,744	3,969	12,565	121,385	△5,861	115,524
セグメント利益	989	329	488	301	2,107	△406	1,701

(注) 1. セグメント利益の調整額△406百万円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

株式会社阪急阪神百貨店の業績について

(1) 第1四半期の業績

(単位:百万円)

	平成25年3月期第1四半期実績	
	金額	前年同期比
売上高	80,728	93.9%
売上総利益	19,997	93.6%
その他の営業収入	377	100.4%
営業総利益	20,374	93.7%
販売費及び一般管理費	19,209	93.1%
営業利益	1,165	105.7%

(2) 店別売上高

(単位:百万円)

	平成25年3月期第1四半期実績	
	金額	前年同期比
阪急本店 (注)1	24,847	88.6%
千里阪急	3,952	100.5%
堺 北花田阪急	2,309	101.1%
川西阪急	4,082	99.5%
宝塚阪急	2,056	99.4%
西宮阪急	5,538	105.1%
三田阪急	293	98.6%
博多阪急	8,418	90.5%
阪急MEN'S TOKYO (注)2	2,586	126.0%
阪急百貨店 大井食品館	1,062	84.6%
都筑阪急	1,706	95.6%
阪神梅田本店	21,829	102.0%
あまがさき阪神	868	104.4%
阪神・にしのみや	1,050	97.9%
阪神・御影 (注)3	125	39.2%
合計	80,728	93.9%

(注)1 イングス館、メンズ館を含む

(注)2 平成23年10月15日 有楽町阪急を改装し、阪急MEN'S TOKYOとして開店

(注)3 平成23年7月24日 2階部分の営業終了

(3) 商品別売上高

(単位:百万円)

	平成25年3月期第1四半期実績	
	金額	前年同期比
衣料品	27,744	94.0%
身の回り品	13,351	98.5%
家庭用品	2,901	87.6%
食料品	24,812	93.2%
食堂・喫茶	1,765	88.8%
雑貨	9,201	92.9%
サービス	537	86.7%
その他	414	95.8%
合計	80,728	93.9%